



第2学期の教育活動が終わります

多くの行事や学習・生活を通し、大きく成長した皆さんと、2学期の終業式を迎えることができたことを大変嬉しく思います。まず、2学期の3つの重点事項について反省をしてみます。

1つ目は、「意欲を持って、主体的に学習に取り組む」ことです。全体的には、与えられた課題については、根気強く取り組むことができましたが、自ら課題を見つけ、自主的・主体的に学習に取り組むことについては、反省すべき点が見られました。一人一人の学習の成果と課題については、11月に行われた教育相談で、担任の先生からお話があったことと思います。自ら進んで、学習に取り組む姿勢が大切です。この冬休みは、弱点克服を目指して計画的に家庭学習に取り組んでください。

2つ目は、「自らの考えを持ち、それを表現する」ことです。授業での発言・発表はもちろんですが、学級活動や生徒会・委員会活動での発表、明輝祭での学年発表などの様子から、自らの言葉で、自分の考えや意見を発表できる生徒が増えてきたと思います。文化面でも、英語弁論大会や少年の主張コンクール、長崎派遣事業での表現力豊かな発表、吹奏楽部の合奏祭やアンサンブルコンテストでの息の合った演奏、明輝祭パフォーマンスタイムでの発表、さらには、作文や書道、絵画・ポスターなどの各種コンクールで数多くの入賞を果たしたことも、大きな成果であったと思います。

3つ目は、「集団の一員としての役割を果たす」ことです。ほとんどの生徒が自分の仕事に責任を持ち、「自治力」の向上を目指し、役割をしっかりと果たすことができたと思います。また、「明輝祭」では、ビックアートへの取り組みや、部門ごとの準備活動、そして明輝祭当日と、一人一人が関わりを持ち、「協力」と「責任」のもと、みんなが一致団結して、心に残る「明輝祭」を創り上げることができました。中でも、合唱への取り組みは素晴らしく、どの学級も心をひとつにして、練習の成果を十二分に発揮しました。



次に、11月には、他県の先生方をはじめ、多くの先生方に授業の様子を参観いただける機会がありました。おいでになった先生方から、皆さんの授業へ取り組む真剣な態度、タブレット等のICTを有効に活用した意見交流や学習のまとめについて、大変よい評価をいただきました。このように、高い評価を受けている中で、心配されることもありました。それは、心ない言動やSNS等で、他の生徒を嫌な気持ちにさせたり、心を傷つけたりしてしまうことがあったことです。生徒の皆さんも先生方も、嫌がらせやいじめのない学校にしたいという想いは同じです。常に、相手の立場に立ち、相手を思いやる気持ちを持って行動することが大切です。皆さん一人一人が自分の言動に責任を持つとともに、悩みごとがあったら決して一人で抱え込まず、必ず、まわりの人に相談してほしいと思います。

さて、明日から1月8日まで、17日間の冬休みに入ります。今年1年を振り返るとともに、新年の新たな目標を立てる大切な時期です。ぜひ、家庭・学校生活での目標をそれぞれ立て、目標を達成するための具体的な行動を掲げて、実行してほしいと思います。特に3年生にとっては、勝負の冬休みです。冬休みが終われば、私立高校の受験が本格的に始まります。どの受験生にも同じ時間があります。その時間をどう使うかは自分次第です。自己実現に向け、精一杯、学習に取り組んでください。

結びに、規則正しい生活と、インフルエンザ等の感染予防を心がけ、メリハリのある冬休みを過ごしてください。そして、病気やケガ、事故などなく、3学期の始業式には、全員揃って、元気な顔を見せてくれることを心から願い式辞とします。【令和5年度 第2学期終業式 校長式辞(抜粋)】

アンサンブル コンテスト 県南支部大会

福島県アンサンブルコンテスト県南支部大会が12月8日(金)・9日(土)に須賀川市文化センターで開催され、本校吹奏楽部から、木管五重奏「ルーマニア民俗舞曲」、管打八重奏「庭のコンサート」、混合七重奏「三日月のシャンソン」の3チームが出場し、息の合った演奏を披露しました。結果は3チームとも銅賞でした。保護者の皆様、会場での視聴・応援ありがとうございました。

